



済生会学会・済生会総会が開催されました

平成 29 年 1 月 28 日（土）～29 日（日）パシフィコ横浜にて、済生会総裁・秋篠宮文仁親王殿下ご臨席の下、第 69 回済生会学会平成 28 年度済生会総会が開催されました。

「済生会の伝統継承と未来への挑戦～新しい医療と福祉の構築に向けて～」をメインテーマにした基調講演やシンポジウムに、全国から 2600 人が参加し、シンポジウムでは、熊本地震で経験した災害医療や認知症ケアの取り組み、人材交流等の国際連携をテーマに議論が交わされました。

また、演題発表では、493 題に及び発表が行われ、医療・看護薬剤・リハビリ等現場で培った成果の発表、病院経営や地域連携の取り組みなどが発表されました。当院からも、佐藤智彦院長はじめ 4 名の職員が演題発表を行いました。



* 院長 佐藤智彦

「北上済生会病院における地域医療福祉への新たな取り組み～在宅医療介護連携支援センターの設置を踏まえて～」

* 主任理学療法士 佐藤晋樹

「高校生を対象とした学校における運動器検診による運動器機能の現状の把握」

* 理学療法士 五内川かなえ

「理学療法士がチーム医療の中心になることにより心不全の外来管理が良好になった拡張型心筋症の一例」

* 助産師 佐藤道代

「産後 1 か月の褥婦が望む育児支援と支援状況の実態調査～助産師による育児支援の方向性の検討～」

済生会が受け継いでいくべき伝統を再認識するとともに、これからの少子高齢化社会に向けて、済生会が担うべき役割について思いを新たにす学会となりました。